

### 〈3〉：台湾人類学史研究

- 2006 [「植民地期における台湾原住民族宗教研究のながれ——『官』『学』両伝統の形成と軋轢——」](#)、木村自訳、『台湾原住民研究』10：137-188、東京：風響社。
- (中国語版は 1999a) [「日本対台湾原住民族宗教的研究取向」](#)、徐正光・黄応貴主編『人類学在台湾：回顧与展望篇』、pp. 143-195、台北：中央研究院民族学研究所。
- 2003 「日本対台湾原住民族宗教的研究取向」、張珣、江燦騰共編『台湾本土宗教研究の新視野和新思維』、pp.1-62、台北：南天書局。(1999a の増補版)
- 2000 『番族慣習調査報告書』第二卷阿美族、卑南族、台湾総督府臨時台湾旧慣調査会原著、台北：中央研究院民族学研究所。(許木柱と共編)
- 1998 『番族慣習調査報告書』第三卷賽夏族、台湾総督府臨時台湾旧慣調査会原著、台北：中央研究院民族学研究所。(主編)
- 1996 “Japanese Studies on the Religion of Taiwan Aborigines during the Colonial Period (1895–1945): The Formation of a Governmental-cum- Academic Research Tradition.” paper presented at 4th Conference on Japanese Studies, March 30, Singapore: National Singapore University.
- 1996 『番族慣習調査報告書』第一卷泰雅族、台湾総督府臨時台湾旧慣調査会原著、台北：中央研究院民族学研究所。(主編)
- 1994 [「鳥居龍蔵の生涯」](#)、遠流台湾館編『跨越世紀の影像』、pp. 21-32、台北：順益台湾原住民博物館。